

# EIWA UNIVERSE

第24号

発行日 2021年8月18日

## 2021年度 入学式

### ハイライト:

- 2021年度入学式 (1p)
- エコウォークを実施 (3p)
- 第1回留学生対象就職対策講座 (7p)
- 研究室探訪 川島美奈子ゼミ (8p)

### 目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
学部事務室 後援会	6
留学生センター キャリア支援課	7
研究室探訪	8

昨年2020年度の入学式はコロナ感染の第1波で、全国に緊急事態宣言が出され、入学式は中止となり、入学式が予定されていた日時には、新入生のオリエンテーションとなりました。

本年2021年度の入学式は、短期大学部が午前10時から、人間社会学部（4年制）は午後1時30分から、新館楓ホールで、新入生と教職員のみでの参加で、感染対策を徹底した上で、密にならないよう、窓や扉を開け、座席も指定席として、間隔を空けて配置されました。

新入生の宣誓は、短期大学部が、現代コミュニケーション学科の望月千夏さん、人間社会学部が、芹澤真梨子さんによって行われました。

入学式の段階で、コロナは第4波が始まったとされ、実際、本稿執筆時点で、再度全国に緊急事態宣言を出した方がよいのではないかと声が出始めるほど、感染者数の波が、変異株によって高まってきています。

人類は、1918～1920年にスペイン風邪を経験しましたが、100年前とは交通網も桁違いに発達し、今回、3年で収束するか危ぶまれています。

そのような中で、すべてロックダウンではなく、実行できるものは実行していく行事等も模索され始めていますが、



この感染の波が、ピークをいつ迎え、収束するのか、明確にわかる人は現時点ではほとんどいないと思われます。

私たちも、そのような状況の中で、学院として、昨年とは異なる歩みを始めています。

柴田学長は、式辞の中で「現在、世界中が新型コロナウイルスと戦っています。この戦いでは、私たち人間は、互いに協力しなければなりません。自分の国が助かるだけでなく、ほかの国が助かることも考えなければなりません。そうでなければ、人間は戦いに負けます。グローバル化された社会とは、多様性の社会であります。自分と違う文化、言語、習慣を、互いに大切にしあわなければなりません。現に、この入学式会場にも、それぞれ異なった文化、信仰を担った人たちが集まっています。ここで皆がお互いに相手を大切にし、認め合って、学び、また友人となっていくのです。そのようにして、コロナ感染症との戦いの日々を越えていかなければいけません。」と述べられました。

現在の世界は、コロナ禍中であるにもかかわらず、残念ながら、一部で、戦いや弾圧などが続けられています。

私たちは、学ぶことによって、平和を創造し、人類全体で、コロナも収束させていこう、試行錯誤しながら、この難局を乗り切ろうと決意する、本年度の入学式となりました。  
(現コミ 高橋)

えいえん か しゅ  
永遠に変わることはない主

学長 柴田 敏

イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に  
変わることはない方です。

(ヘブライ人への手紙13章8節)

じかん なん  
時間とは何でしょうか？

この世界は、時間にそって存在しています。

この世界は、時間にそって始まり、終わる、  
出来事です。

朝が来て、昼になり、夜が来て、また朝になる。  
春、夏、秋、冬と季節が変わる。

そして、人間は生まれ、成長し、年老い、死んで  
いきます。

長い時間のあいだに、大地も、大海も、姿を変え  
ていきます。

山が低くなったり、高くなったり。  
島がうまれたり、海に沈んだり。

この宇宙も膨張しているといわれます。  
星が消えることがあります。

太陽は、50億年後に消え、その前に、地球も消  
え去るそうです。

この世界は、出来事です。

この世界は変化し続けています。

出来事は時間の中にあります。

人間は、時間の中で生きています。

人間は、時間のない世界に存在することができま  
せん。

人間の存在自体が、時間に支えられています。

もし、私に過去の記憶がなくな  
れば、私は私でなくなってしまう  
ます。



神様は、そしてその一人子イエ  
ス・キリストは、永遠に変わるこ  
とがない方です。

神様には、始まりも、終わりもありません。

神様ご自身が、アルファであり、オメガなのです。

始まりであり、終わりなのです。

神様はつねに生きておられます。

神様には、時間というものはありません。

時間と関係のない世界におられます。

主イエスは、時間と関係のない世界から、この時間の  
中の世界に來られました。

生まれ、成長し、福音を説き、十字架につけられ、死  
んで葬られた後、復活して天に上られました。

この世界での出来事を、時間を経験されました。

そして、この世界では愛が大切であることを教えられま  
した。

変化し続けるこの世界で、変わらない愛を持ち続ける  
ことが大切だと、教えてくださいました。

私たちが大きく超える栄光の神様が、時間の中でコロ  
ナ禍に苦しむ私たちに、愛し合うことが大切だと教え

てくださっています。

参考:カルロ・ロヴェツリ『時間は存在しない』NHK出版

## 宗教委員会

### 2021年度の歩み

いつも本学のためにお祈りくださり、ありがとうございます。宗教主任の大坪哲也です。今年もまたコロナウイルスの影響が続く中で学院の学びが始まりました。昨年とは異なり、縮小して入学式を行うことができましたが、まだまだ日常を採り戻せたとすることはできません。いつの日かこの原稿を振り返り、そういう時もあつたなと思える日が来ることを願っています。

2021年度は、昨年よりも少しずつ前進しようと、様々な工夫を凝らして大学行事を運営しています。リトリートについては現在検討中ですが、コロナが今以上に悪化しなければ、感染症対策を採ったうえで、「学内リトリート」として行う予定です。学内で行うと言っても、新規性がないため、今回は日本基督教団の牧師、教師の方と協力して、教会との関係をつなぐリトリートにしたいと考えました。また感染予防策をとりながら、上級生との交流会もできる限り実施したいと思っています。

チャペルの様子は、昨年と同様に、学生を四分割して毎週行っています。サークル活動に制限が課せられているため、今回は学友会が制作した「サークル紹介動画」をチャペルとポータルで配信することにしました。各サークルがマスク着用と三密を避けながら活動している様子が流れました。コロナ

の状況で、十分に活動することはできませんが、学生たちが懸命に本学で学び、活動している様子を知ることができました。

こうした状況ですが、宗教委員会は学生たちに何をしてあげられるのか、周囲の教会と連携しながら考えています。そのひとつに、エドワード・ウォレン・クラークの来静150周年記念事業の企画があります。E.W.クラークは、当時牧師ではありませんでしたが、ジョージ・カックランの前任者であり、静岡学問所の理化学の教師として派遣されました。事実上、静岡にプロテスタントキリスト教を最初に宣教した人物であると言えます。本学とも関係の深いクラーク先生の働きを紹介することで、学生たちに建学者たちの精神が伝わるよう願っています。

(宗教主任 大坪)



## ボランティアセンターだより

5月25日（金）、ボランティアセンター環境社会チーム主催のもと、エコウォークを実施しました。梅雨時期ということで天候が不安定でしたが、当日は晴天に恵まれ、無事に実施することができました。

環境社会チームや今年度から所属の学生スタッフ、本学教職員、合わせて19名が参加しました。先生の声掛けにより、狭間ゼミの学生にも参加していただきました。



今回は①東静岡駅～本学、②本学周辺（池田山団地）の2コースに分かれて活動開始です。人通りの多い駅周辺にもかかわらず、植木に隠すように捨てられたゴミが多く見つかりました。中でもタバコの吸い殻が多く、隙間に押し込んで捨てられたものもあり、「近年喫煙場所が限定されているが、喫煙所が撤去されることでポイ捨てが増えているのではないかと学生同士で意見を交わす場面もありました。

今回のエコウォーク実施の背景には、大学周辺での“タバコのポイ捨て”を問題視した学生の、ポイ捨ての削減と可視化を図りたい、という思いがありました。そこで2コースに分かれ、拾ったタバコの本数を競うという、ゲーム要素を取り入れて企画してくれました。

結果は、①コースが311本、②コースが152本。駅周辺や道路沿いを清掃したこともあり、その差は歴然でしたが、本学周辺だけで150本もあつたことに驚きます。最終的に集められた吸い殻の山を見て、改めて喫煙マナーの周知が必要だと感じました。

エコウォークは7月にも実施予定ですので、地域の美化のためにも皆様のご参加をお待ちしています。

(ボランティアセンター 倉田)

## 人間社会学科

新型コロナウイルスの感染に伴い、昨年度の授業はほぼオンライン授業で、教員も学生も当初は手探り状態で大変な毎日でしたが、今年度からはゼミをはじめ多くの授業が対面となりました。やはり、教員も学生たちも対面授業はモチベーションがあがり、充実したキャンパスライフを楽しんでおります。

今年度4月より1名の新任の先生が本学科に着任いたしました。ご紹介しますと、「アメリカ文学・文化」がご専門の狭間敏行講師です。狭間先生はロックが好きでDJ経験もあるとのこと、穏やかな話しぶりからは想像ができません。学園祭でぜひ披露していただきたい！と熱望しております。

今年も多くの地域連携事業が行われましたので、いくつか紹介いたします。七間町名店街で行われた「七間町青空市」に「地域創造フィールドワーク」(担当教員：毛利康秀准教授)を履修した学生たちが、感染防止対策を講じた上で「留学生の母国カレーの食べ比べ試食会」を実施して、地域の方々との交流を深めました。

「しずおか中部連携中枢都市圏課題解決事業」の「牧之原市：魅力ある公園づくり」事業(担当教員：畑恵里子教授)において、

公園周知のためのキャッチフレーズやイメージキャラクターの名前をゼミ学生が考え、ポスター・チラシ・ポケットティッシュを作成し配布しました。

次に新規資格の話題です。観光地域デザインメ

ジャーでは「国内旅程管理者研修」(担当教員：川崎友加講師)を15名が受講し、全員が「国内旅程管理主任者」の資格を取得しました(留学生も資格取得したそうです！)。

今回、コロナ禍の中、人間社会学科の就職内定率は96.5%という結果になりました。全国的にみても大変高い数値です。人間社会学科は、留学生も多く、教員も学際的で国際色豊かです。これからも学科教員一同、多様性を重んじ、愛と奉仕の精神で、学生へ幅広い学びの場を提供し、静岡の地に多くの優秀な人材を輩出していきたく思います。人間社会学科教員および学生たちの活躍を今後もご期待ください。(人間 永山)



## コミュニティ福祉学科

コミュニティ福祉学科(旧地域福祉学科)を静岡英和学院大学と同時に造られ、豊かに祝福し、御心になかった歩みへ学科とメンバーを導いて下さっている主に、心から感謝致します。主のみどころが成りますように。

### 1. 第33回社会福祉士国家試験(2021年2月実施)の結果について

合格者と各種データが同年3月15日から厚生労働省のサイトで公開されていますが、それによると「新卒+既卒」の合格率は全国では29.3%(昨年と同じ)です。また、本学コミュニティ福祉学科の合格者数は昨年2020年(2019年度)とほぼ同数でしたが、「新卒+既卒」の合格率は33.3%(全国200校中81位)で、昨年のほぼ2倍になりました。また、全国200校中81位は、東北福祉大学(84位)、聖隷クリストファー大学(85位)、静岡福祉大学(103位)より上位です。「既卒」の合格率は聖隷大や静岡福大の3倍程度(東北福祉大の2倍程度)となり、本学の強みとなっています。

### 2. 過去問学習等機能の無料提供開始について

卒業生と在学生の受験希望者に「数年分の過去問をPCやスマホで気軽に繰り返し解くことができ、学習状況を自ら(提供側も)確認できる機能」を2022年2月9日(第34回国試実施予定の3日後)まで無

料で提供しますので、学習と合格に役立っていただければ幸いです(中原までご連絡下さい。早めどうぞ)。

### 3. 異動と導き、感謝

鈴木正和先生は、本学科着任後2020年度まで、保育実習、保育・幼児教育の言葉や表現、専門演習、卒業研究などをご担当し、一人ひとりの学生へ真摯に向き合い、絵本の朗読や作成指導等を通じて能力を自覚させ、他の教員にも学生の素晴らしさに気づきを与えて来られました。さらに本学科保育士資格課程の履修カルテの提示と木目細かな指導により、手頃で有効な学習ポートフォリオを根付かせられました。ご専門は日本近代文学で、退職された教授の後任として公募により人間社会学科へ2021年4月から異動となり、ご専門を中心とした教育・研究に携わっておられます。委員会でのお働きを含め、コミュニティ福祉学科でのこれまでのご尽力に心から感謝し、人間社会学科でも主の豊かな祝福がますます明らかになることを信じます。

2021年4月から、教育学がご専門の金田健司先生が本学科に着任されました。中学・高校の教員免許状取得のための教職課程の科目を中心にご担当下さい。本学科でも教科福祉の高等学校教諭一種免許状を取得可能で、2020年度も3名(教育実習に行った全員)が取得しています。先生への主の豊かな祝福を信じます。(コミ福 中原)

## 現代コミュニケーション学科

現代コミュニケーション学科の伊藤ゼミではベルテックス静岡のホームゲームでボランティア活動を行ってきました。ベルテックス静岡は2016年に発足したプロバスケットボールリーグ、Bリーグで静岡市をホームタウンとするチームです。4シーズン目の2019-20年シーズンから3部のチームとして加盟しました。今シーズンはコロナ感染拡大の影響により、2か月以上遅らせ、試合数も減少させ2021年1月に開幕しました。選手やチームは常にPCR検査を行い、観客数も会場の収容人員の半分以下にして、試合を行ってきました。正直なところ、コロナ渦でゼミの学生に活動させることに苦しい判断をしなければなりません。しかし、すべてを止めてしまうと、何もかも活動の機会を失うことになります。チームの決意と覚悟を確認し、私も覚悟を決めて、ボランティア活動を希望者だけに絞り、実施することを決断しました。実施するにあたり、絶対に感染しない、感染させないという強い思いを学生とともに確認して活動をしてきました。学生は会場で、スポンサー企業やマスコミの受付、招待席へのご案内などを行い、ビジネスマナーやコミュニケーションをとることの大切さを学び、成長する貴重な機会を得る

ことになりました。最後に、感染への危機意識が高い人が集まる試合会場で感染者は1人も出さずにシーズンを終えました。今後も逆境に負けずに活動を続けていくつもりです。

(現コミ 伊藤)



## 食物栄養学科

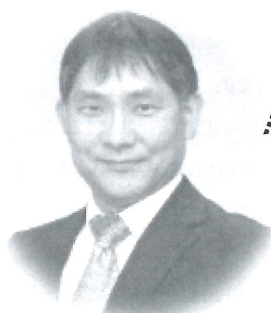
2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のために日常が制限され、以前には想像もしない生活を経験しました。大学のロックダウン、オンライン授業、感染症対策に配慮しながらの対面授業など、常に見えないウイルスという大敵に立ち向かうことを強いられていました。このような状況下でしたが、3月には卒業式を開催することができ、本学科から43名が社会に巣立って行きました。コロナ禍であるにも関わらず、就職希望者全員が就職を勝ち取りました。また、進学希望の2名が編入学を果たしました。卒業時資格取得状況は、栄養士32名、フードスペシャリスト11名、フードサイエンティスト20名、日本茶アドバイザー10名でした。そして、新たに学科の基礎教育科目となったチーズ検定においても9名が合格しました。

さらに向上心の高い学生9名は、3つの資格（栄養士・スペシャリスト・サイエンティスト）を、4名が5つの資格（上記＋日本茶アドバイザーとチーズ検定）を取得しました。卒業後も高い目標を持ち頑張り続けている卒業生達もいて、第35回管理栄養士国家試験に4名が合格しました。

2021年度4月、給食経営管理分野の安本美登里先生と生化学分野の庄司豊先生の2名をお迎えしました。この2年で教員4名が本学科メンバーとなりました。栄養士資格に加え様々な資格取得を支援し、食の専門家の養成に力を注ぎ、在学中2年間の学びを教員一同充実させていきたいと考えています。

(食物栄養 望月)

学生時代に興味を持った「糖尿病」を勉強し続けるため長年病院に勤務しました。趣味はディズニーパークでショーを鑑賞すること。高所恐怖症なのでアトラクションには乗れません。



大学・大学院を過ごした静岡に帰ってきました。卒業後は国内外でがん研究を行ってきました。これからは本学の皆様と協力し、教育・研究に尽力し、皆様の幸福と発展のために働きたいと考えております。

## 学部事務室

### 学部事務室の利用について

2021年度は、対面授業の数も増え、キャンパス内も学生の活気が賑やかになってきました。しかし、日々状況が変化しており、予断を許しません、この記事が掲載される頃にはもう少し日常のキャンパスライフが帰ってきていることを祈るばかりです。

私たちがいる学部事務室では、主に授業支援サポートや履修相談等の窓口業務を行っております。そのため、1度は利用された方も多いのではないのでしょうか。今回、学部事務室の職員とその業務を紹介することによって、学生の皆さんがより身近に、相談しやすい部署になれば幸いです。それでは、早速見ていきましょう。

「学内一番の窓口対応を目指す・岩品さん(筆者)」



担当：試験・成績、集中講義、教職課程など

「岩品さんをライバル視する元気印・荻さん」



担当：社会福祉士・保育士関係事務、履修登録、留学に関することなど

「学内一番の癒し系を目指す・小田さん」



担当：検定関係、シラバス、各種証明書、教科書販売など

「小田さんに癒される癒し系お姉さん・太畑さん」



担当：栄養士関係事務、公欠、休講・補講、履修要項など

「学部事務室の頼れる兄貴・高橋さん」



担当：学務システム、時間割、単位認定など

「学部事務室の司令塔・三浦さん(室長)」



担当：学務業務の統括

以上、職員6名とその主な担当業務を紹介いたしました。学部事務室では、常に学生に寄り添い、学生の皆様が快適に大学生活を過ごせるようにバックアップしていきます。日々刻々と変化が続く中、授業の件に関する相談やポータルサイトの使い方など不安に思う事も多い事でしょう。どんな些細なことでも構いませんので何かご不明な点があればすぐに学部事務室にご相談ください。私たちが全力でサポートいたします！

(学部事務室 岩品)

## 後援会だより

日頃より、保護者の皆様には大学後援会の活動にご理解・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

今回は、大学後援会の活動について、ご説明いたします。

後援会会則では、後援会の活動として、学生の厚生福祉及び奨学、設備充実助成、研究活動助成、地域社会への貢献促進を行うものとされております。

昨年度はこの趣旨に基づき、防災備蓄品や体温検知システムの

購入、学生給付奨学金への助成、学内の樹木剪定や定期清掃の助成など学生の皆様が充実したキャンパスライフを過ごすことができるよう、サポートを行いました。

今年度は、wifi環境の拡張などを計画しております。今後も大学からの要望も伺いながら後援会活動を行ってまいりますので、ご協力を賜りますようお願い致します。

(総務課 杉田(後援会担当))

## 留学生センターだより

今年度、本学の新入外国人留学生は、大学と短大合わせて約80名となりました。そのほとんどは、昨年は日本にいて、日本語学校等で学ぶ中でコロナ禍となり、多くの不安を抱え、体調に気をつけながら毎日を過ごしてきた人たちです。

昨年度の入学生も、入学直後は学内入構禁止、その後オンラインを中心とした授業を受け、後期は対面の授業が増えましたが、学内ではすべてマスク着用となりました。したがって、留学生センターの職員も、マスク姿の留学生しかわかりません。そのようなわけで、本学に在籍する留学生の半分は、その人がどんな顔をしているのかもわからないという状態です。彼らも、マスク姿の留学生センター職員しかわからない、ということです。

留学生センターとしては、通常は、留学生がこの大学で充実した学生生活を送ることができるよう、イベントを企画したり、日本人学生や地域の人達との交流会への参加を促したりしています。しかし、昨年度からそのような行事はほとんどが中止となりました。今は授業を中心とした学校生活を維持することが目標で、それ以外の、実は本当はとても大事な、プラスアルファの部分は体験できない日々となっています。感染症への対応だけが、これまでにはない体験の中心となっている、という現在の状況です。

また、一部の留学生については、突然緊迫した政治情勢となった母国と今後どう向き合っていくのか、新たに大きな困難が生じたことにも、我々は配慮しなければいけないと感じています。 (留学生センター 職員)



この3月に民族衣装で卒業式に臨んだ留学生  
マスクが残念

## キャリア支援課

### 2021年度第1回

#### 「留学生対象就職対策講座」

5月26日(水) W302教室で2021年度第1回「留学生対象就職対策講座」を開催しました。

短大・大学を卒業後、日本国内での就職を希望する留学生は、在留資格を「留学」から「就労」へ変更する必要があり、多くの学生が「技術、人文知識・国際業務」という分野の就労ビザを目指すことになります。



そのためには、大学・短大で学んだことを生かす業務に従事すること、あるいは、母国語を使うこと、という条件があり、大学・短大でどんな分野の学問を修めるかが重要になります。

それと同時に越えなければいけないのが「日本語能力」のカベです。留学生の採用を積極的に考えている企業であっても、留学生に対して日本語能力を身に付けていることを求め、具体的には、日本語能力試験の1級(N1)あるいは2級(N2)を条件とする所が多くあります。本学において、大学ではN2~N1、短大はN3~N2レベルの留学生が多く、就職活動において日本語能力不足が不利に働くことも少なくありません。目標を定め、在学中から就職に向けた意識をもち続けなければ、日本国内で就職する際のハードルが非常に高くなってしまいます。

就職希望の留学生は、全員対策講座に出席するよう呼び掛けてきました。しかし近年、留学生の講座参加率は伸び悩んでいます。留学生ならではの事情を理解し、自分の望む進路選択ができるようになるためにも、個別面談や就職対策講座などに積極的に参加するよう、キャリア支援課では引き続き指導をしていきます。 (キャリア支援課 荒川)

## 研究室探訪



**川島 美奈子**  
(かわしま みなこ)

**所属:**人間社会学科

**職名:**教授

**研究テーマ:**

「協同組合論」「流通、マーケティング論」「消費生活協同組合の組合員政策及び商品政策、経営」「消費生活協同組合における教育の重要性」

の普及した現在民間企業でも双方向性マーケティングは可能となっていました。生協が民間企業に優位となるマーケティング政策のあり方とは何か。それは設立目的「生活向上」をマーケティング政策で実現することであるため、それを可能とするマーケティング政策とは何か。

### 私の研究

「消費生活協同組合」(以下「生協」と略)の組合員活動がもたらす商品政策のあり方、生協のガバナンスのあり方が大学院時代の主な研究テーマでした。静岡にご縁を頂いてからは、以下のような研究を行っております。

- ・生協の設立目的は「生活向上」「生活向上のための組合員教育」のため、生活向上を可能とする組合員教育に必要な要素とは何か。また、女性の社会的進出などによる共同購入・共同購入組織を基礎としたガバナンスが難しくなった現在、組合員教育の中でも次世代をガバナンスに参画させるための教育に必要な要素そして手法とはどのようなものか。

・「組合員の声」を活かした双方向性のあるマーケティングが行えることは生協の優位性であったが、SNS

・学生の消費生活を向上させるための商業教育にはどのような要素が必要か。また、効果的な大学にお



ける商業・流通に関する教育とはどのような要素が必要か。

### 社会貢献活動

・日商1級販売士、一般社団法人日本販売士協会賛助会員(登録講師という、日商リテール・マーケティング検定2級3級を公的に教えられる資格)を活かし、一般社団法人日本販売士協会の会報誌「販売士」の取材に同行し、静岡商業高校の生徒と交流しました。

・「東静岡における賑わいの創出」(2017年度の地域解決課題)では、東静岡駅北口「アート&スポーツヒロバ」の芝生広場活性化についてどのようなイベントが望ましいか地元住民及び英和生にアンケートを取り、比較分析を行いました。

### ゼミ活動

・ゼミでは「好きな商品」「好きな企業」についてプレゼンテーションすること、日商リテール・マーケティング検定3級の受検対策を行っています。その際、課題文献を読ませることと他のゼミ生が納得するような説明をさせること、企業の成功要因を社会的背景から掘り下げることが義務づけています。接客業や販売職に関心のある学生、発表スキルを伸ばしたい学生、将来起業したいまじめな留学生が集まり、切磋琢磨しながらお互いに頑張っています。今年の4年生は3名が日商リテール・マーケティング検定2級(3年次2月)、3級(2年次2月)を2つ取得しております。



**静岡英和学院大学**

SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201

FAX 054-263-4763



**静岡英和学院大学短期大学部**

SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 [info@shizuoka-eiwa.ac.jp](mailto:info@shizuoka-eiwa.ac.jp)